

3回目追加接種について知っておいて いただきたいこと（新型コロナワクチン）

新型コロナワクチンの3回目追加接種

3回目追加接種は、1・2回目を接種した後、経過日数とともに徐々に低下する感染予防効果をもう一度高めるために行います。

※ワクチン接種は、希望する人が接種するものです。職場や周りの人に接種を強要したり、接種をしていない人に対して、差別的な対応をすることはあってはなりません

ワクチンの安定供給

2回目接種を完了している人が3回目追加接種を受けることができる量のワクチンが自治体の接種実績回数をもとに、国や県から配給されることになっています。

使用するワクチン

2回目に接種したワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社または武田 / モデルナ社のワクチンを使用します。

ワクチンの3回目追加接種の効果

3回目追加接種をした場合、接種しない場合に比べて重症化する確率が12分の1に、死亡する確率が5分の1になるといわれています。また60歳以上の場合、感染予防効果が11.3倍、重症化予防効果が19.5倍になったという報告があります。

3回目追加接種の副反応

3回目追加接種の副反応は、ファイザー社、武田 / モデルナ社のワクチンのいずれも1・2回目とおおむね同様の症状とされています。また2回目接種後と比較して、副反応の発現割合が低いとの報告もあります。



厚生労働省
ホームページ

副反応の発現割合		ファイザー社製	武田 / モデルナ社製
接種後、数日以内に現れる可能性のある症状	50%以上	接種部位の痛み(78.3→83.0%) 疲労(59.4→63.7%)	接種部位の痛み(88.3→83.8%) <u>疲労</u> (65.4→58.7%) 頭痛(58.8→55.1%)
	10～50%	<u>頭痛</u> (54.0→48.4%) 筋肉痛(39.3→39.1%) <u>悪寒</u> (37.8→29.1%) 関節痛(23.8→25.3%)	筋肉痛(58.1→49.1%) 関節痛(42.9→41.3%) <u>悪寒</u> (44.3→35.3%) <u>リンパ節症</u> (14.2→20.4%)
	1～10%	<u>38℃以上の発熱</u> (16.4→8.7%) 腫張(6.8→8.0%) 発赤(5.6→5.9%) リンパ節症(0.4→5.2%)	<u>38℃以上の発熱</u> (15.5→6.6%) <u>腫張・硬結</u> (12.3→5.4%) 紅斑・発赤(8.7→4.8%)

※カッコ内は2回目→3回目追加接種後の副反応発現割合

■=5%以上低下 ■=5%以上上昇

(厚生労働省ホームページ新型コロナワクチン Q & A から抜粋)

交互接種で知っておいていただきたいこと

交互接種の安全性

接種後7日以内に出る副反応は、3回目に1・2回目と異なるワクチンを接種(交互接種)しても、3回とも同じワクチンを接種しても、どちらも安全性の面で許される程度とされています。

交互接種の効果

交互接種をしても、3回とも同じワクチンを接種してもどちらも血液中の中和抗体価[※]が上昇しています。

※中和抗体価＝ウイルスの感染力または毒素の活性を失わせる抗体の値

ワクチンの組み合わせ	3回目追加接種前と比較した中和抗体価比
● → ● → ●	20.0 倍
● → ● → ◆ (交互接種)	31.7 倍
◆ → ◆ → ◆	10.2 倍
◆ → ◆ → ● (交互接種)	11.5 倍

●＝ファイザー社製
◆＝武田 / モデルナ社製

※詳しくは厚生労働省ホームページを確認してください



電子版ワクチン接種証明書

これまでの紙の接種証明書とともに、スマートフォンのアプリから電子版の接種証明書の申請・発行ができるようになりました。スマートフォンに専用のアプリをダウンロードして、接種証明書の申請をすると電子版の国内用と海外用の接種証明書が発行されます。

電子版ワクチン接種証明書の申請に必要なもの

- ☐ スマートフォン
(マイナンバーカードが読み取れる端末)
- ☐ マイナンバーカード (国内用・海外用とも)
- ☐ パスポート (海外用のみ)

※日本政府公式新型コロナワクチン
接種証明書アプリ



App Store
(iOS)



Google Play
(Android)